

台風8号

台風8号は7月8日(火)、大型で非常に強い勢力(中心気圧 930hPa、中心付近の最大風速 50m/s)で宮古島地方の東北東 80km を北上し、同日未明に宮古島地方、八重山地方、本島地方を暴風域に巻き込み甚大な被害をもたらしました。

最大瞬間風速は宮古島で 35.8m/s、那覇市で 50.2m/s、渡嘉敷島で 53.0m/s を観測しました。

今回の台風においても、沖周電業所の復旧に備えた要員 12 人の事前配置や資機材の準備に努めるとともに、復旧作業においては本島各支部(沖周含む)に関係会社、協力会社からの追加応援要員 47 人を動員し復旧に当たりました。

また、台風8号の接近に伴い7日(月)、气象台は宮古島地方、沖縄本島地方に暴風・波浪の特別警報※を公表、さらに8日両地方に高潮特別警報を追加し嚴重な警戒を呼びかけました。

※数十年に1度の強度の台風や豪雨、豪雪などにより甚大な被害が出る恐れがある場合に気象庁が発表する。予想される現象が特に異常であるため、重大な災害の起こる恐れが著しく大きい旨を警告する新しい防災情報。台風の場合、本州などでは伊勢湾台風級(中心気圧 930hPa 以下、風速 50m 以上)を指標とするが、沖縄、奄美、小笠原については中心気圧 910hPa 以下、風速 60m 以上を指標とし運用。

●台風8号進路図



設備被害状況

電柱破損(折損、倒壊)	15本
電線断線[高圧]	165条・スパン
電線断線[低圧]	103条・スパン
柱上変圧器破損	40台

停電状況

最大時停電戸数 107.3千戸(7/8 18:00)



名護市字田井等の電柱傾倒



電線にからみつく飛来物(中城村南上原)



復旧作業の様子(座間味村)



復旧作業の様子(宜野湾市愛知)

自衛隊ヘリ(CH-47)の応援について

当社と陸上自衛隊第15旅団は、台風や地震などの災害時に円滑な連携を図ることにより迅速かつ的確に対応することを目的に、復旧資機材や人員等の輸送などに関する災害協定を平成25年12月18日に締結しています。

今回襲来した台風8号の被害により渡嘉敷電業所管内の島々で全島停電し、天候の悪化により民間の船舶および飛行機が欠航したことから、同災害協定に基づき、沖縄県を通じて要請を行い、自衛隊ヘリにて渡嘉敷島、座間味島へ復旧要員7人および車両1台を輸送し、停電の早期復旧を行うことができました。



渡嘉敷島および座間味島へ自衛隊ヘリにて
復旧作業の応援要員7名の派遣および作業車を運搬